



つばさ新聞

理事長のコメント

すっかり暖かくなりましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか？街ゆく人々の服装も変わり、真新しい制服やランドセルを背負った子供たちをみかけると、自然と心も温かくなるような気がします。

さて、今年5月8日に【新型コロナウイルス感染症】の感染症法上の位置づけが変更になります。しかし、国内の感染者がゼロになったわけでは無いので、患者さんにとっても、我々にとってもまだまだ油断はできない日々が続きます。今後も窮屈な状況が続きますが、「感染を広げないこと」と「感染から守ること」を大事に、当面は現在の感染対策を継続しながら訪問診療に取り組みます。引き続き、ご協力の程よろしく申し上げます。

(医療法人つばさ 理事長 中村 幸伸)

副院長就任のご挨拶



つばさクリニック
副院長 滝内 宏樹

コメント

この度、つばさクリニック（倉敷）の副院長に就任いたしました滝内です。今年で勤務7年目となりました。また、医師20年目を迎え、一つの節目を感じております。在宅医療では小児から大人まで、残された時間が限りある方から長い方まで関わり方は千差万別です。「誰もがずっと笑顔でいられる日々」を支えられる診療を心がけてまいります。まだまだ至らぬ点もありますがよろしく申し上げます。



つばさクリニック岡山
副院長 逢坂 隆之

コメント

つばさクリニック岡山の副院長に就任いたしました逢坂です。倉敷で二年半の勤務の後、岡山へ異動して三年半が経ちました。この間はほぼコロナ禍でしたが、皆様のお力添えでつばさクリニックらしい診療を続けることができました。今後は、診療とともに院長のサポートにも尽力したいと思っております。どうぞよろしく申し上げます。

メディカルアシスタント

伊藤 健二

カラオケ・ゴルフ
園芸

在宅医療を求めておられる方々のために、つばさクリニックの一員としてお力になれるよう頑張っております。

メディカルアシスタント

石岡 浩明

サイクリング
旅行

皆様のお役に立てるよう、がんばります。

医療事務

中山 薫

野球観戦

これまでの経験を活かし、日々勉強の気持ちで頑張ります。

看護師

布野 礼菜

散歩・ソフトテニス

患者様とご家族がお家で安心して過ごすことができるように、看護師としてお手伝いしたいと思います。よろしく申し上げます。

在宅生活をサポートする 医療・介護サービスのご紹介

訪問介護



サービスの紹介

訪問介護では、介護や支援を必要とする高齢者や障害者のご自宅を訪問し、身体介護（入浴・排せつ・食事等）や生活支援（調理・掃除・買い物代行等）などのサービスを行います。お一人お一人の「住み慣れた家で自分の望む生活を続けたい！」そんな気持ちを大切にします。

事業所の特徴

当事業所は、北ふれあいセンター内に事務所を置き、谷万成を中心に足守・御津地域で活動しています。同法人の岡山市ふれあい公社には、他に訪問介護事業所が3つあり、岡山市内の広範囲でサービス提供を行っています。自立支援に向けた質の高い介護を目指し、毎年岡山市訪問介護インセンティブ事業に取り組み、令和4年度は全ての事業所で表彰されました。よりよいサービスをお届けできますよう研鑽して参ります。



ご家族様、担当ケアマネジャー、かかりつけ医、他の事業所のみなさまと連携していきます。ちょっと困りごとが増えてきたと感じられたら、訪問介護の利用を検討してみてください。

北ふれあい介護サービスセンター

〒700-0071 岡山市北区谷万成2丁目6番33号
TEL 086-251-6505

つばさクリニック

定期訪問 午前9時～午後5時 緊急往診 24時間対応

診療科目 訪問診療・内科
循環器科・呼吸器科・整形外科

〒710-0047

岡山県倉敷市大島534-1

TEL 086-424-0283

HP: www.tsubasa-clinic.net

つばさクリニック岡山

診療科目 訪問診療・内科・小児科

〒700-0026

岡山県岡山市北区幸還町1-7-7

TEL 086-254-0283

www.tsubasa-okayama.net



想いでエピソード

つばさクリニック岡山 医師 松田 浩明

つばさクリニック岡山で訪問診療に携わって1年になります。患者さんの年齢、性格、職業、家族、住まい、趣味等々、皆さんの生きざまは様々です。病院での診療とは異なり、在宅医療は患者さんのご自宅に伺いますので、患者さんの人生の物語をより感じることができます。患者さんの病態を診るのが医師としての仕事ですが、自分なりに鋭敏なアンテナをたてて、患者さんの発信したいことをできるだけ受信し、それに対してこちらから発信し得ることがあればそれは何かを考えています。私ももうすぐ還暦という年まで生きてきましたので、その間にも様々な人との出会いや節目となる出来事があり、そんな物語によって私が形成されているとしみじみ思います。この患者さんとそのご家族はどんな人生を歩んでこられたのか、想像を膨らませて診療を行ってきました。そんな診療の中で思い出に刻まれた患者さんをご紹介したいと思います。

80歳代の男性です。退職後に癌を指摘され、治療を頑張って続けてこられました。ご本人からのお話では、営業職としてスポーツ関連の企業一筋で70歳半ばまでお仕事を続けられ、退職後に奥さまとお二人でお過ごしでした。会社で奮闘されていた頃の逸話を、非常に生き生きと、かつ楽しそうにお話ししてくださいました。初回の自宅訪問時には「これから元気になって、今まで行けなかった旅行にいきますから。そして最期まで自宅で過ごします。」とおっしゃられました。ご自分の病状は前医から説明を受けていましたので十分に理解されていたと思います。その中でも診療時はユーモアを交えながら、私たちを和ませてくれました。

しかし、次第に病状は悪化していき、症状を緩和するためにチューブの留置など様々な医療的な処置をせざるを得なくなりました。その都度、ご本人の思いやご家族の願いを鑑みながら、病状が進行していることをお伝えしました。そのような状態になっても、私たちに対してユーモアを含んだレスポンスを返してくださいました。また、奥さまにもユーモアたっぷりの愛情表現をされた（ここでは詳細は書きませんが）と伺いました。70歳半ばまで勤務された体力と長年にわたって培われたエネルギーで、最期の2週間は本当に頑張られて、ご主人を受け止めてこられた奥さま、ご子息に看取られながら人生を終えられました。

これは私の勝手な思いかもしれませんが、会社員、父親、夫等々として患者さんが、生きてきた人生の一つの形としてサービス精神たっぷりのユーモアや愛情を、周囲のご家族や医療従事者である私たちにまで届けてくれたのではないかと感じました。残された人生が少なくなり、自分がほかの人にしてあげられることや大切な人と触れ合うことができなくなる中でも、最期まで周囲の人を気遣い笑いを届けたことがどれほどすごいことかを思い知らされました。それができたのは、患者さん自身の人生があったからであり、さらにはそれを支えてきた奥さん、ご家族の存在があったからだと思います。

それぞれの人に、それぞれの人生あり。私もそうです。皆さんもそうです。これからもアンテナをいっぱい立てて診療していきます。

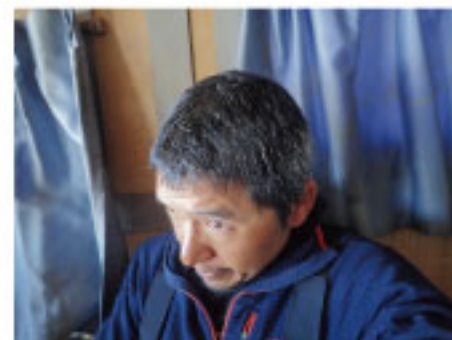


Dr. 岡田の南極物語リターンズ



第13回：ドーム旅行隊あるある(前編)

ドーム旅行も後半に差し掛かってくると、日々の作業や生活を行っている中で様々な「あるある」が発生してきます。今回はそんな「あるある」について紹介したいと思います。①景色にあまり感動しなくなる：南極に来た当初は見るもの全てに感動していたが、あまりにも変わりばえのない景色(真っ白な雪原のみ)に飽きてしまい、心が動かなくなる。②会話が減る：常に同じメンバーで顔を合わせ続けているため、話すテーマがなくなり、必要最低限の会話しかしなくなる。瞑想していたり、一点を見つめて動かない隊員もいる。③体の汚れがあまり気にならない：2か月間お風呂に入っていないため、常に服や体は汚れっぱなし。全員が同じように汚れているため、お互いの様子は気にならない。普段自分の体は臭く感じないが、下着の中は驚くほど臭いがこもっていて、たまに下着を脱ぐと、けもの臭が湧き上がってくる。④体毛が抜ける：常に帽子を被っている髪の毛と靴下で覆われたすね毛が抜けてくる。おそらく蒸れや汚れが毛穴に詰まることにより、毛根が死んでしまうのが原因と思われる。さらにストレスのせいか異常に白髪が増えてくる。⑤甘いものが無性に食べたくなる：極寒環境で生活すると、寒さだけで体内のカロリーが消費されていき、1日5000kcal以上摂取していてもどんどん痩せていく。そのため常に体が甘いものを欲する。持ち込んだお菓子類は旅行前半ですでに品切れ状態となったため、現在は練乳をチューブごと吸ったり、食材として準備していた「あずき」を缶ごと食べたりしている。映画「南極料理人」でバターを盗んで食べていたシーンがあったが、その気持ち十分に理解できる。(後編へ続く。)



【白髪が増える】



【甘いものが食べたくなる】

ソーシャルワーカーの

豆知識

～こどもの医療費助成制度が変わります～

	助成内容(現行)		助成内容(変更箇所)	
倉敷市	入院費	小中学生は無料	7月~	通院費 小中学生は無料
	通院費	小学生まで無料		入院費 高校生まで無料
岡山市	入院費	小中学生は無料	1月~	通院費 小学生は無料
	通院費	小学生は1割負担(上限44,400円/月) 中学生は3割負担 高校生は3割負担		通院費 中学生は1割負担
総社市	入院費	小中学生は無料	子どもの医療費助成が 倉敷市は2023年7月から 岡山市は2024年1月から変更されます。 総社市 早島町 は、変更ありません。	
	通院費	小学生まで無料 中学生は1割負担		
早島町	入院費	小中学生は無料		
	通院費	小中学生は無料		



変更

詳しくは各自治体の医療費窓口にお問い合わせください。